

現在、工事中

完成予想図

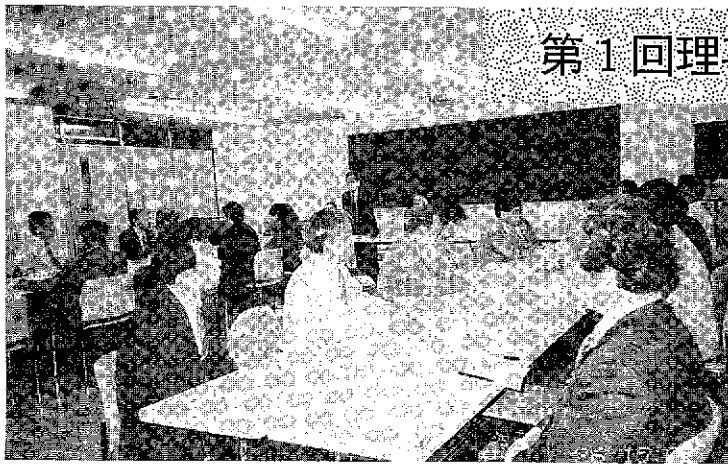
表紙 「中之口村先人館」
間もなく完成
(中之口村公民館)

特集 男女共同参画社会を迎えて
—女性の視点から—

視点 「私」を変えた「出会い」 倉田葉弥美
ひろば ひと声が大きな輪(和)に 田端与利男
実践シリーズ 女性ネットワーク研修会 小野塚和恵
サークル交流 十日町おやこ劇場(十日町市公民館)
五十島陶芸教室(三川村公民館)

素顔拝見 岩淵悟さん(豊栄市)
宇佐美亮さん(佐和田町)

第1回理事会・評議員会開催



平成12年度 基本方針・重点事業

創立50周年を迎えて新たな出発を

◆基本方針

- (1) 上部組織との連携・強化
- (2) 職員の資質向上
- (3) 情報提供事業の充実
- (4) 県公連の体質強化
- (5) 創立50周年記念事業の実施

◆重点事業

- ① 関係上部組織との連携・強化(全公連、関プロ公連)
- ② 研修事業の充実(上・中・下公連研修)
- ③ 「月報」紙面の充実・刷新(月刊公民館との連携)
- ④ 自己財源確立のための努力
- ⑤ 記念大会の実施、記念誌の刊行

5月26日(金)県公連第1回理事会(午前)・評議員会が、新潟市中央公民館で開催された。全評議員のうち32名が出席で会議は成立。来賓は、県生涯学習推進課長古川和正様をお迎えして定刻に開催された。

議長に、伊藤博氏を選任、議事に入った。

◇審議内容

一、平成11年度会務報告並びに歳入歳出決算の承認

二、役員改選

三、平成12年度基本方針・重点事業並びに事業計画案と予算案の承認

四、第51回県公民館大

会兼県公連創立50周年式典・祝賀会について、原案どおり承認

◇報告・連絡事項

(1) 県公連優良公民館、永年勤続表彰等の提出について

(2) 公民館月報の購読数について

(3) 公民館月報の原稿執筆割当てについて

(4) 平成12年度県公連市町村負担金一覧表について

(5) 第51回県大会兼県公連創立50周年式典、祝賀会の参加申込みについて

◇情報交換

一、今井会長より

・全公連並びに文部省の施策状況について資料提示がなされ、今後の方向について若干のコメントがなされた。

二、各郡市公連より

・各郡市公連持ち寄り資料の説明がなされた。

下公連評議員会開催

- ◇平成12年5月16日(火)
- ◇新潟市中央公民館
- ◇審議内容
- (1) 平成11年度事業報告並びに決算報告
- (2) 平成12年度役員選出
- (3) 平成12年度事業計画(案)
- ・評議員会
- ・役員研修会
- ・第51回県公民館大会兼50周年記念式典
- ・祝賀会
- (4) 平成12年度予算(案)
- (5) 各郡市公連情報交換(会議及び研修予定)

関プロ理事会開催

- ◇平成12年6月1日(休)2日(金)
- ◇水戸市ホリデイ・イン水戸
- ◇審議内容
- (1) 平成11年度事業報告及び決算報告について
- (2) 平成12年度役員選出について
- (3) 平成12年度事業計画(案)及び予算(案)について
- (4) 第41回関東甲信越静公民館研究大会(水戸市)について
- (5) 第23回全国公民館研究集会(釧路市)について
- (6) その他
- ◇大会会場視察
- ・茨城県立県民文化センター(主会場・分科会会場)
- ・水戸市民会館(分科会会場)

◆新任公民館職員におすすめるハンドブック
公民館経営の手引 第1集・第2集
実践事例集 地域づくりと公民館

B5版 62ページ
 各5,000円(送料実費)
 A4版 88ページ
 5,000円(送料実費)

社会教育学級等における

学習計画立案の手順と方法

B5版 44ページ
 5,000円(送料実費)

元横浜国立大学教授 吉川 弘著

公民館月報(個人購読大歓迎) 定価1部150円 年共・年極 1,800円

申込先 ☎951-8053 新潟市川端町2-9 県林業会館内 県公民館連合会事務局 ☎FAX025-224-6073

平成12年度 新潟県公民館連合会役員名簿
平成12年度 5月26日現在

役職	氏名	所属公民館
会長	井嶋 昭一	新潟市中央公民館
副会長	井嶋 井橋 義雄	新潟市中央公民館
理事長	井嶋 井橋 義雄	新潟市中央公民館
理事	井嶋 井橋 義雄	新潟市中央公民館
監事	井嶋 井橋 義雄	新潟市中央公民館
副会長	加佐 茂 義雄	新潟市中央公民館
理事長	加佐 茂 義雄	新潟市中央公民館
理事	加佐 茂 義雄	新潟市中央公民館
監事	加佐 茂 義雄	新潟市中央公民館

- 編集委員
- 県生涯学習推進センター 上越地区 中越地区 下越地区
 - 新井市公民館 市長 斎藤 隆夫
 - 小千谷市公民館 市長 斎藤 隆夫
 - 栄町公民館 館長 斎藤 隆夫
 - 新潟市中央公民館 館長 斎藤 隆夫
 - 豊栄市中央公民館 館長 斎藤 隆夫
 - 新潟市中地区公民館 館長 斎藤 隆夫
 - 新潟市北地区公民館 館長 斎藤 隆夫

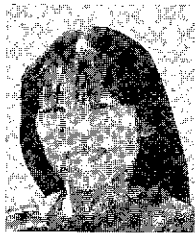
視点

京都市で生まれ育った私が、夫の転勤のため新潟に来て3年。この地で「私」を変えよう。

『私』を変えた『出会い』

倉田 葉弥美

新潟転入後間もなく長女を出産。友人・友人のいない土地での初めての子育ては孤独で



め直す時間・多くの友人・母子分離学習サークル「木馬の会」との出会いを与えてくれた。「自分を見つめ直す時間」は子育て中だからこそ学ぶことの大切

不安で、その矛先は子どもや夫に向かってしまった。そんな時、中央公民館主催「幼児期家庭教育学級・ゆりかご学級」と出会った。「ゆりかご学級」は私に自分のことを見つ

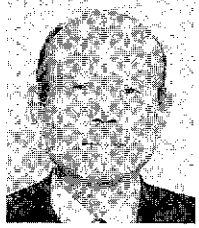
出会っていただければ、どんな母・妻として毎日を送っていたらうか？ 充実した幸せな毎日を送っていただけることに感謝。

新潟での「出会い」の始まり「ゆりかご学級」に感謝。「ゆりかご学級」に出会わせてくれたわが子や夫にも

感謝の気持ちを込めて「ありがとう!!」(新潟市中央公民館・子育て学習サークル「木馬の会」会員)

ひと声が大きな輪(和)に

佐和田町公民館運営審議会委員 田端 与利男



昨年、知人が減反した田に蕎麦を播いたことを聞き、何か特別の目論見があるか声をかけてみた。知り合いに蕎麦打ち名人がいるので話をかけてやろうと思ったからである。話はとんとん進み、蕎麦打ち名人一家が友人を誘って、数日刈り取りに来た。ところが天候を見ての刈り取りだったのが、田圃二枚刈った時点でキューワイの収穫出荷と重なり、手間がないと引き揚げてしまった。こちらが引き受けた手前仕方なく近所の退職友人二人に蕎麦打ちで一杯やろうと誘いをかけ、二、三日手伝ってもらった。

ひろば

佐渡の好感と思いが忘れられないという事で、今年もまた第二回目を計画、七月八日から来島することになっている。人の気持ちを和ませるひと声、何かよいことの輪に広がる引き金になることを期待し、お互い声をかけ合いたいものである。

あとは家内と刈り取り、乾燥脱穀を二人で頑張る終えた。ついに新蕎麦による蕎麦打ち講習を集落センターや自治会館でやるのに参加したり、収穫から関わった方々や希望有志と試食会、舌鼓を打った。一寸した声のかけ合いが、地域の活性化に

「社会を迎えて」

からの提案

住安 恵子



- 突然ですが
- * ジェンダー
- * ジェンダー・フリー
- * リプロダクティブ・ヘルス／ライツ
- * アンペード・ワーク
- * ドメスティック・バイオレンス
- * ナショナル・マシーナリー
- * セクシャル・ハラスメント
- * ポジティブ・アクション
- (アファーマティブ・アクション)
- * GOとNGO
- * エンパワーメント
- * 男女共同参画基本法

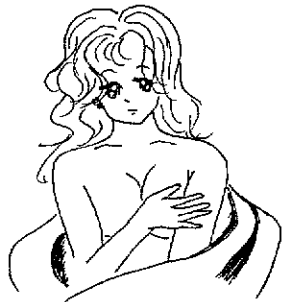
*** 女性行動計画**
*** 世界女性会議**
*** 女性の権利は人権である**
*** 男女共同参画二〇〇〇年プラン**
*** 男女共同参画ビジョン**
*** 女子差別撤廃条約**
*** メディア・リテラシー**
 まだまだ沢山ありますが、主だったものをあげてみました。あなたはこの中の言葉、どのくらい見たり聞いたりしていますか？また、内容まで説明できるのはどのくらいありますか？

私は一九七五年の「国際婦人(女性)年」、それに続く「国連婦人(女性)の一〇年」から、つかず離れずで四半世紀かかわってきましたが、自分だけかわく人様に分かるように説明せよと言われたら頭をかかえてしまうのが幾つかあります。大変恥ずかしいことだと思っています。こんなに沢山の言葉が出てきて、それぞれに存在感を持ち始めたのは、一九九五年北京で開催された第四回世界女性会議(新潟県からは百人近くの参加がありました)以降であると思っています。ここで採択された「北京行動綱領」によって「男女共同参画ビジョン」や「男女共同参画二〇〇〇年プラン」が国で策定され、国に留って各地でそれまで以上に女性行動計画

が作られ、見直されて女性政策が徐々に地についてきました。そこに追い風として昨年六月に「男女共同参画基本法」が施行され、女性政策はローカルからグローバルになったといわれました。

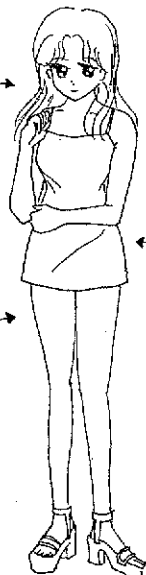
平たく言うならば、今までは「女共が何だか知らんけど差別されているだの、権利があるだのと騒いでいるが」「忙しく働いてる男に向かって、やれ子育てをしろだの、飯をつくれだのとつまらん御託を並べおって」「そんなに言うなら男と同じ働きをしてみろってんだ」「女に何が分かると言うんだ。女はハイハイと素直に言うことを聞いて、可愛ければいいんだ」などと軽くあしらっていた日常茶飯事のことを含めて、すべての社会体制や制度、慣行を政策的に見直していかなければならなくなったと言ふことです。しかも、男女共同参画社会(男女平等社会)にするために。

○キーワードは「ジェンダー」
 ある日のワイドショー。婚約発表の記者会見。女性に向かっ「お料理は何が得意ですか」男性には「お味はいかがでした」また「お子さんは何人位？」と聞いている。結婚したら女は料理を作って、子どもを産んで、



大きな胸 女を固定化

男の子向けでは、必要もないところにやたらと女性の裸が出てきます。極端にデフォルメされたウエストやバスト、そして、固定化された言葉で。



ほっそりとした体型

しっかり家を守るものだとして押しつけている。彼女が結婚後も働くことが分かっていてもです。小学校の低学年から毎週毎週見ている少年少女まんが雑誌。見たことありますか？いいがた女性会議の教育研究部がコミックについて調査しました。女の子向けにはこんな絵や言葉が沢山出てきます。



男を固定化

毎週数百万部とも言われている漫画雑誌です。ここでも「女とは」「男とは」と知らず知らずの内に刷り込んでいます。そして、「女なるが故にこん

特集「男女共同参画

女性の視点

新潟市男女共同参画審議会委員
新潟市社会教育委員

○自己紹介

新潟市中央公民館へ四半世紀通って「にいがた婦人(F)ジャーナル」を発行しています。やっと四〇号に取り掛かったところです。社会のあらゆる分野にアンテナを張り、情報に流されないで、私たちの考えを発信しようとしたものです。

私の社会参加の原点です。二五年間の様々な体験は大切な財産になっています。

*新潟市社会教育委員

*にいがた女性会議代表(2000、5月20日迄)

*新潟市男女共同参画審議会委員

な思ひもしてきています。
*「あなたのようにはつきり物を言う子は、男性に好かれないし嫁の貰い手がなかに決まってる」
*二人目の子どもが女の子だった時、近所の人から「次は絶対男の子を頑張ってるね」と励まされた。

*「大股で歩くとお嫁に行けないよ、女の子はもっと静かにしているものだよ」と言われた。
*PTAの宴会の時、お酒をついでまわるのは女性教師と母親たちの役目だった。

*長女が浪人を決めた時、姑から「女の子にお金をかけてどうするの。女の子は氣立てさえよければいいんだわ」と言い、美術系に進んだ長女の将来に対し「保母さんがいいんじゃないかね」と言われた。

*「お宅の姉さんやり手ですわねー」あーあれは女じゃありませんから
*四〇年間働いてきた私に、友人は男並に良く働いてきたと誉めてくれた。

*印にいがたFジャーナル誌37号「ジェンダーってなんだ」から抜粋
ごくごく身近なことを、これでもかこれでもかと引用してしまいました。女性なら皆一度や二度は体験していることだと思

います。「女」に産まれたが故に、「女だから」「女として」「女らしく」と家庭でも学校でも社会でも言われ続けてきました。それがいつの間にか「そういうものだ」「そうあらねば」と毎日を通り過ぎてきたけれど、なんとなく息苦しくも感じていたのです。男の人も男だから「男らしく」と言われて座りの悪い思いをしてきた人も多分にあると思います。

このように「女だから」「男だから」と性によって役割を決められてしまい、それを社会的にも文化的にも教育的にも精神的にも押しつけられて生活することをジェンダー(もっと深い意味があるが)に縛られていると言っています。

男女共同参画社会(男女平等社会)は性別による偏りのない社会を作っていくことと、本当は女とか男とかに捕らわれない「私は私である」生き方ができる社会(ジェンダー・フリー)を作っていくかなければならないのです。それにジェンダーに敏感な視点をもって、あらゆる分野の制度や慣行を見直していかなければならないということ。

そのために行政(GO)では「行動計画」を策定していますし、私たち「にいがた女性会議」

のような民間の活動(NGO)も各地で広がっています。そのせいで今まで見えにくかったドメスティック・バイオレンスやセクシュアル・ハラスメントなどが市民権を得てきているのではないかと思っています。

まったくの私見ですが、ジェンダーに捕らわれているとセクシュアル・ハラスメントも起きやすいのではないかと思っています。横山ノック前大阪府知事の行為は言語道断、弁解の余地なしですが、あれだって「男なら」「男だもの」と本人は勿論、周りの人達もどっかで許しているのが見えます。

軽い気持ちでとか、雰囲気や和らげるためにとか、ちょっとしたリップサービスなんだよと言っているジェンダーの刷り込みは濃く深く浸透しています。これを払拭するのはまだまだ長い時間が必要だと思っています。

○そこそこ満足な生活で
問題が見えなくなってきた不勉強の極みの私にも年に一回か二回「女性セミナー」の講師にお誘いがきます。面映ゆいことです。お話しすることがへたな私はできるだけ参加者から「しゃべって」もらおうように心掛けています。嬉しいことにこの頃は「女性セミナー」にも男

性の姿がチラホラ見受けられるようになりましした。
参加された男性たちは概ね女性に理解(?)があります。
「夕飯は大抵私が作っています」「休みの日は必ずと言っていいほど作ります」そして、「女房(マッパい)よりうまいですよ」「忙しいですからね、感謝されています」と得意気です。女性の参加者からは「主人は(夫と言って!)理解があります」

「協力してくれますので」「こういう場所に出てこられると満足そうなのです。
踏まれた足が痛いよ」と声をあげて四半世紀、法律も制度も慣習も大きく良い方向に変わってきたと思っています。
しかし、何かすっきりしません。日常生活の、個人的な、ちょっとした居心地よさに満足(大事なことです)してしまっ

て、もう一歩を踏み出していないような気がします。「してやる。もらう」関係では真の男女平等社会は作れない。これからは私を取り巻くあらゆるもの(働き方や政治、経済、社会の仕組み、健康、環境等)に、目を向け、見直し、ネットを張って女性の権利を主張していかなければなりません。そのためのエンパワーメントがもっと求められるのではないのでしょうか。

実践記録シリズ(44)

女性ネットワーク研修会

松之山町教育委員会・公民館

副参事 小野塚 和恵

1、研修会のあらまし

この研修会は、多様化する女性のニーズに対応できるよう五月から十二月まで平均月一回の研修を行なっているものです。対象は町内の女性ならどなたでもOKで、平日開催では働く女性は参加できないことから、開催時間を夜七時三十分～九時三十分までに設定、幅広い年代



歌声セミナー

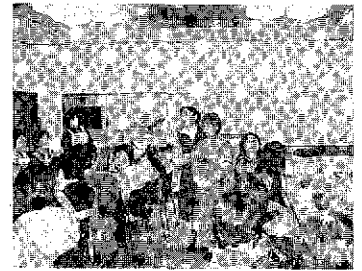
の女性から参加を得られるようにしています。

参加者の年齢層は四十～六十代が中心で、研修内容により六十～七十代の方の参加もあります。子育てが終り、ようやく自分の時間を持てるようになった女性たちが夕食後の家事を済ませて、公民館へと集まって来ま

す。毎回異なる学習の講師は、公民館で募集した人材バンクに登録頂いている方を中心に、近隣の市町村在住の方にお願ひしています。

2、研修内容について

計画を立てるにあたり、女性に興味を持てること、誰でも技術がなくても取り組める入門的な内容にすることを念頭におき、世の中の流れに即した新しいメニューを加えるようにしています。



世界の料理交流

ひとりではやれないことをやってみたい、いろいろなことに挑戦したい、という積極的な参加者の声を参考にしながら計画してきたこの研修会は、十二年度で七年目に入りました。

松之山町は地理的な面からみて、いつでも、誰でもやりたいことを学習するということがなかなか難しく、このような行政側の研修会が好評なのでしょ

う。参加者も年々増加し、十一年度は四十六名の参加申込みがありました。全メニューに全ての人が出席する訳でなく、やりた

いものを選んで出る人が多く、平均すると一回の参加者は二十名前後となります。本年度は昨年より少し減少し三十二名の参加希望がありました。中でも毎年一番人気が、結婚により外国から来られた女性たちとの交流を目的にして

る「世界の料理交流」です。中国、韓国などさまざまな国の出身の方の得意料理を教えてもらい、その後料理を食べながら情報交換を行なっているものですが、この回だけ出席したいという人がいる程です。

研修会が終了する十二月に参加者へアンケート調査を行い、女性の求めている学習内容や、これからの研修会の在り方について意見を聞き、次年度の参考にしています。

○アンケートの中から

●豊富なメニューで良かった。違った仲間づくりができて大変良かった。

●歌声セミナーに参加して、皆さんと声を合わせて昔懐かしい歌が歌えて何か胸がキュンとするものがありました。

※これからの希望内容

- ・ペーパーフラワー
- ・登山
- ・合唱
- ・ガーデニング等

3、今後の課題

このめまぐるしい情報化時代に、女性が何を求め、

何を必要としているのか的確に把握し、学習活動を推進していかなければならないと感じています。また仲間づくりの場としても活用されていたことは大変嬉しく、これからの研修会として、仲間づくりの一環として、充実した内容を提供できるよう頑張りたいと思います。

※問い合わせ 〇二五五九一六一二二六五 (直通)

平成12年度 女性ネットワーク研修会事業計画

月日	曜日	研修内容	講師
5月23日	火	開講式(各講座・教室合同) 講演会「素敵なパートナーシップをめざして」	県教育庁保健体育課 滝沢ミチ子
6月10日	土	ハーブ教室(黒倉ハーブ園)	黒倉 伊勢谷宣仁
7月23日	日	楽しい登山 柏崎市 米山	派遣社会教育主事 井上幸夫
9月1日	金	うたごえセミナー	松代中学校飯塚秀樹
10月16日	月	シルクスクリーン	松之山町リーダーバンクより 草村慶子
11月22日	水	世界の料理交流 日本・韓国・中国・フィリピン等	日本語教室のみなさん
12月2日	土	パッチワーク教室(第1回)	松代町 浜川せつ
12月9日	土	パッチワーク教室(第2回)	松代町 浜川せつ



サークル交流

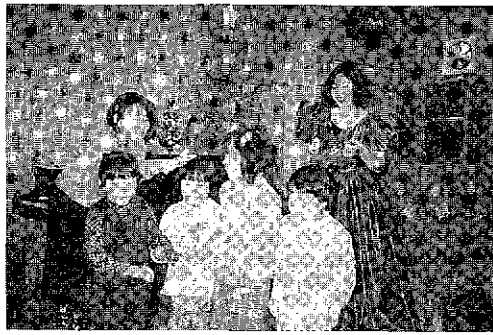
子どもたちと生の舞台を楽しみたい

十日町おやこ劇場

十日町おやこ劇場は、子どもたちと楽しんで舞台や音楽を鑑賞するの目的に、平成4年に発足しました。これまでに、人形劇など30数回の鑑賞会を行いました。

当会は会員制で、現在大人子どもあわせて約200名です。

平成12年度の主な活動内容は、6月「絵本と体操の会」7月人形劇「ちっともコリン君」9月「シャボン玉博士」10月音



楽劇「カガミマル」などを予定しています。

地方都市において、子どもたちが生の舞台や演奏に触れる機会はそう多くありません。テレビやビデオによって様々なものを見ることはできますが、直接「見たり、聞いたり」することは、子供たちにとっても新しい体験となっています。

今後、より良質の鑑賞会を企画していきたいと考えています。

(十日町おやこ劇場)

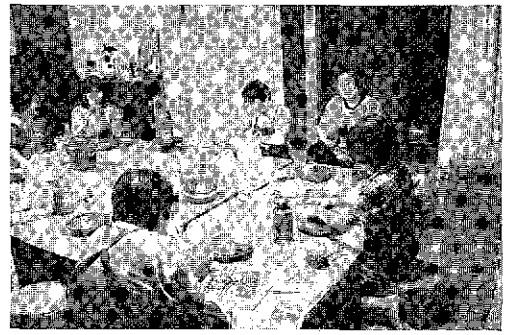
庭野晴る 記

創作で豊かな気持ちに

五十島陶芸教室

村で、公民館活動として陶芸教室があり参加しました。あまりにも楽しくて友人達に話したら、夜工房まで行くのは大変なので、地区でやれたら是非やってみたいということで、役場と先生にお願いをしたところ、快く、春と秋に三ヶ月間ずつ講座を二回開いて下さいました。メンバーは小学生から七十才代まで、年齢、性別問わずで十人程集り、五十島陶芸教室がスター

集り、五十島陶芸教室がスター



トしました。

粘土をこねて創作する喜び、案から出す時の期待感はなんとも言えません。作品の出来はどうあれ、自分で作った器でお茶やお料理を頂いたりお花を生けたりと、とても豊かな気持ちに浸ることが出来ます。

秋には村の産業祭の会場で作品展もあり、これも励みとして皆さん腕を磨いています。今年が即売をやって、福祉へ寄付をしてみましようという話も出ています。

このサークルに、楽しくなるような名称を皆さんで考えてみたいと思っております。

(三川村 五十島陶芸教室)

渡部 邦子 記

豊栄市中央公民館 社会教育主任 岩淵 悟 さん

四月から中央公民館に所属になった岩淵さんは、とても明るいスポーツマンで、周りをなごやかにしてしまいう特技の持ち主です。

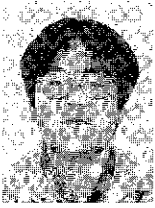
主に文化団体との調整や各種講座の開催を担当し、持ち前のフットワークでこなしています。最近では開催される事業の準備に奮闘する毎日です。これからは「忙しい時でも笑



素顔 拝見

佐和田町教育委員会生涯学習課 主事 宇佐美 亮 さん

昨年度に新採用となった当課の「ジャンボ」こと宇佐美君は東京都出身で25歳、当課では文化財関係を担当しています。都会育ちには珍しく、文化財の調査ではヘビやヤブ蚊が待ち受ける山地の険しい敷をものともせず、鉦と図面を手に奥地へと入り込み、きつちりと仕事をしています。また、地域の歴史講座の講師としても活躍しています。時間外の事務室で机上に何冊もの分厚い歴史書を置き、講座に備えて一人黙々と勉強して



いる彼の姿には頭が下がります。夜の部でも酒が強く、酔っても決して乱れることなく、常に先輩を介抱する側に回っている(？)回らされている。)ようです。また野球とカラオケも得意分野で、特に野球では、役場の野球チームで、五番を打つ強打者です。どうぞ、佐和田町の「ジャンボ」をお見知り下さい。

(佐和田町生涯学習課 新野 浩一 記)

恵贈資料紹介

平成11年度

中越の生涯学習・社会教育・社会体育・芸術文化

中越教育事務所社会教育課

今年度の本書の特徴は、現在最も注目されている学社連携融合の分野について新たに項を起し、第5節で中越管内の推進概況と所見を述べていることである。しかも、重点を、学社双方の窓口の設置・推進のための協議の場の設置・連携融合効果の相互発信と定め、その視点から把握し、モデル校の指定・市町村における関連事業の分類まで行っていることである。また、

第2章の「学社融合」市町村事業情報を一覽表で提示、大変見易く、分かり易く掲載しており、参考資料としても大変活用し易く工夫されている。もう一つの特徴は、地域で子どもを育てる体制整備(「全国子どもプラン」の推進)の状況についても、管内の実施概況と所見を述べていて、現代的な課題について総括している。



事例に学ぶ

学校と地域のネットワーク

今野雅裕 編

今野雅裕 編
ぎょうせい刊



学校と家庭と地域社会の三者の連携・協力的について答申や提言がなされる中で、実際に取り組んでいる実践事例を紹介しながら、新たな実践を生み出す手立てを示したものである。とくに私どもが参考とすべき家庭・学校・地域社会の連携・融合については、新潟県でも既に紹介されている千葉県習志野市立秋津小学校の「大人も楽しむ運動会」、栃木県鹿沼市教育委員会の「夢のあるコミュニケーション」

平成12年7月の催物ご案内

◇夏の特別展◇ 「びっくり・錯覚・不思議体験」
～視覚のトリックに挑戦～
7月22日(出)～8月31日(内)
不思議な部屋、錯視図形など、あっと驚く不思議な世界を紹介します。また、目の錯覚を利用したトリックアートの芸術的な作品も楽しむことができます。

☆プラネタリウム夏番組☆ 平成12年6月10日(出)～平成12年9月3日(内)
「ドラえもんときがそう宇宙のともだち」
内容 ドラえもん、のび太くん、しずかちゃんの三人は、のび太くんが会ったという不思議な宇宙人に会うため、「生物が住める星」を探し、宇宙を旅することになりました。

料金		
入館料	大人	小・中学生
	510円	310円
入館料+プラネタリウム料	710円	410円

◇幼児、障害者の方は無料です。
◇プラネタリウムを観覧される場合は、入館料のほかに観覧料が必要です。
7月の休館日は、3日(月)、10日(月)、17日(月)、18日(内)、24日(月)、31日(月)です。
※ 毎週月曜日の定休日のほかに、設備点検整備のための休館日があります。(7月は18日(内)です。)

お問い合わせ先
☎ (025)283-3331
FAX (025)283-3336
Eメール nsm@coralocn.ne.jp (新アドレス、3月1日から)
ホームページアドレス http://www.lalanel.gr.jp/nsm/index.html
〒950-0941 新潟市女池2010-15
新潟県立自然科学館

あ と が き
◇第51回県大会兼50周年記念式典・祝賀会の方も、二市北蒲公連のご尽力によりほぼ順調に動き始めております。7月19日、聖籠町町民会館で、ぜひお会いしましょう。

◇県公民館振興市町村長連盟総会(会長小林一三氏(新潟市長))が、七月七日(金)新潟会館で開催予定です。柏崎市公民館の品田尚道副参事が、コミュニケーションづくりについて事例発表予定です。(鈴木記)

表紙解説

「中之口村先人館」

間もなく完成

生涯学習の発達基地として、澤将監の館と共に村の名所、もう一つ。
(中之口村公民館)

発行所 新潟県公民館連合会

〒951-8053

【新潟市川端町2-9・県林業会館内】

【TEL・FAX (025)224-6073】

発行人 会長 今井昭友

編集人 事務局長 鈴木友夫

【定価1部150円 年共1,800円】